



株式会社エイジア

## 第23期 株主通信

2017年4月1日～2018年3月31日





代表取締役

### 美濃 和男

(※1) **クラウドサービス**: インターネット経由でソフトウェアをサービスとして利用する形式。ユーザー企業はソフトウェアが稼働するIT環境の管理や、ライセンス料等高額な初期投資等の負担なく、毎月の利用料を支払うことで安価に利用できる。

(※2) **クロスチャネル対応**: 販売促進メッセージを配信する際、顧客一人一人にとって最適なチャネル(メール、LINE、アプリ、DM等)を自動判別して配信する機能を想定。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2018年3月期は、売上継続性の高いクラウドサービス<sup>(※1)</sup>の販売や、大型案件、コンサルティングサービスの受注等により、連結売上高は前期比14.5%増の1,523百万円、営業利益は前期比21.3%増の348百万円と堅調に推移し、売上高、利益とも過去最高となりました。

また、2017年12月に当社株式は東京証券取引所第一部銘柄に指定されました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、お取引先様など、多くの関係者の皆様の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当社は、メールをはじめとしたマーケティングコミュニケーションを実現する「WEBCAS」シリーズを提供しておりますが、近年は顧客のニーズが多様化・複雑化しており、「個別最適化したメッセージを、よりタイムリーに、メールに留まらない多様なチャネルで届けたい」という要望が高まっています。当社ではこれらの声にお応えするためには、既存システムの機能拡充に加え、人工知能によるマーケティングシナリオの最適化が必要になると考えております。そこで、現在「WEBCAS」を「AIを活用したクロスチャネル対応<sup>(※2)</sup>マーケティングプラットフォーム」へと発展させることを中期経営ビジョンとして掲げ、事業を展開しております。

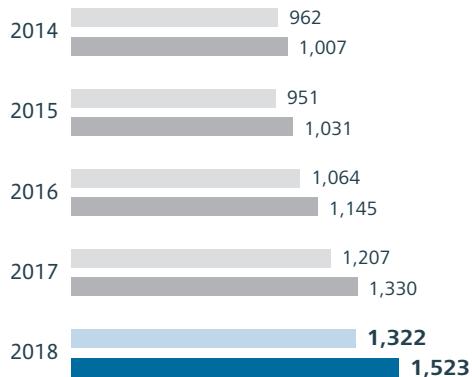
2018年3月期は、AI、特にディープラーニングを活用したサービスを提供する株式会社ABEJAのパートナープログラムへの参画や、パーソナル人工知能を開発するSENSY株式会社との業務提携等を進めてまいりました。2019年3月期も、当社ビジョンの実現に向けてこれらの取り組みを継続し、更なる有益なシステムソリューションの開発とサービスの提供に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 財務ハイライト

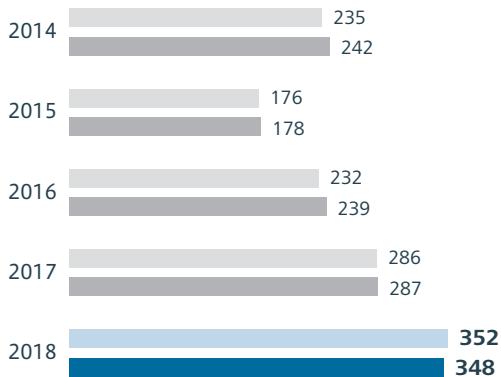
## 売上高

(百万円)



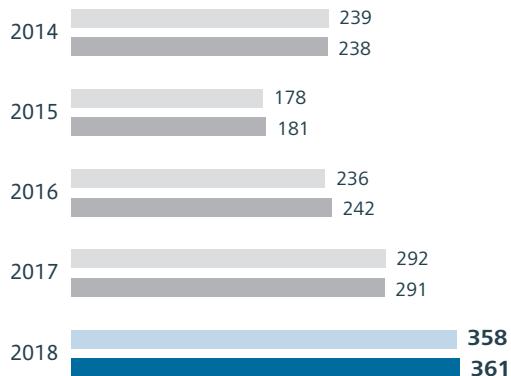
## 営業利益

(百万円)



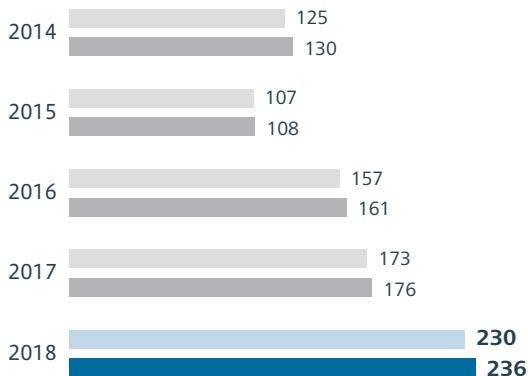
## 経常利益

(百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)

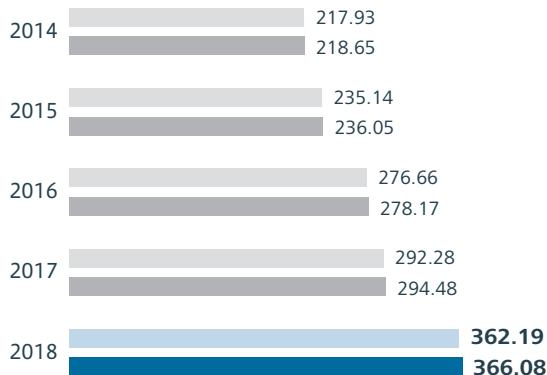


■ 個別 ■ 連結

## 財務ハイライト

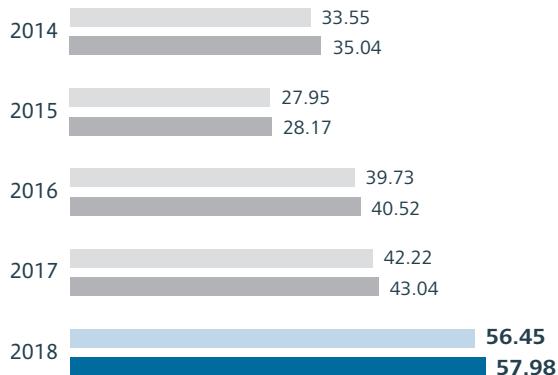
### 1株当たり純資産額

(円)



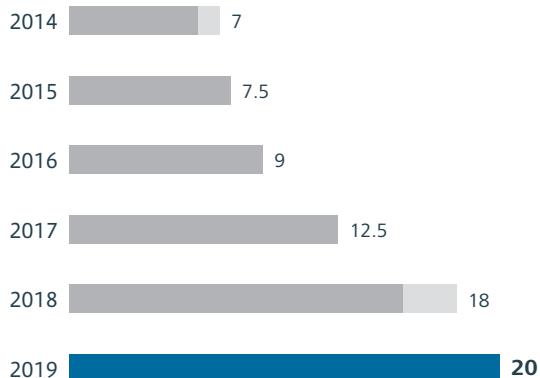
### 1株当たり当期純利益

(円)



### 1株当たりの配当実績と配当予想

(円)



※2014年3月期は、普通配当6円、記念配当1円の合計です。

※2017年4月に1株を2株に分割いたしました。1株当たり情報は、株式分割を反映し、遡及修正して表示してあります。

※2018年3月期は、普通配当15.5円、記念配当2.5円の合計です。

※2018年3月期までは実績。2019年3月期は予想。

## 貸借対照表

〈連結〉

単位：百万円

科目	22期 (2017年3月31日現在)	23期(当期) (2018年3月31日現在)
現金及び預金	778	1,022
有利子負債	-	-
純資産	1,206	1,498
総資産	1,505	1,851

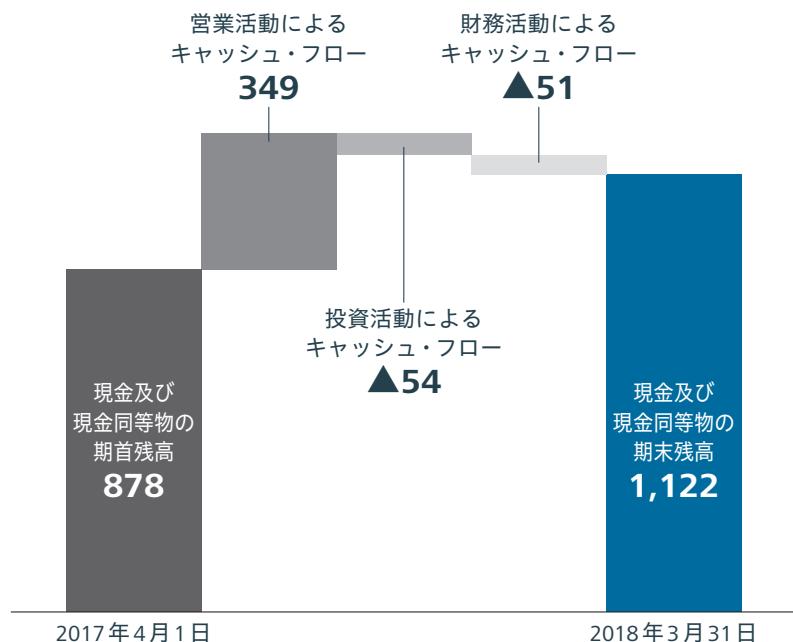
〈個別〉

単位：百万円

科目	22期 (2017年3月31日現在)	23期(当期) (2018年3月31日現在)
現金及び預金	741	981
有利子負債	-	-
純資産	1,191	1,476
総資産	1,471	1,787

## 連結キャッシュフロー計算書

単位：百万円



## エイジアの主な製品紹介

当社主力製品である「WEBCAS (ウェブキャス)」シリーズは、企業がインターネットやメールを介して顧客と有効な関係を築き、効率的・効果的なマーケティング活動を行うためのシステムです。EC (通販) 運営企業、メーカー、生命保険、金融機関、官公庁など大手企業を中心に4,000社以上に導入いただいております。



# WEBCAS®



企業と顧客の双方向コミュニケーションを  
柔軟かつ多角的に支援

### メッセージを届ける



メール配信



マーケティングオートメーション



LINE メッセージ配信



SMS 配信



DM 印刷・郵送

### 声を集める・理解する



アンケート・フォーム作成

### 問い合わせに対応する



問い合わせメール共有

### 会員登録の仕組みをつくる

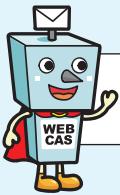


顧客管理

## 「WEBCAS」で実現できること

多くの企業にとって、お客様の新規獲得やその後の長いお付き合いは、“信頼関係を築けるか”が重要なカギとなります。「WEBCAS」は、企業とお客様の信頼関係を構築する「双方向コミュニケーション」を実現できるシステムです。





たとえば、こんな風に使われています！

## 欠品商品の入荷通知を希望したお客様に、メールやLINEで自動連絡を行う

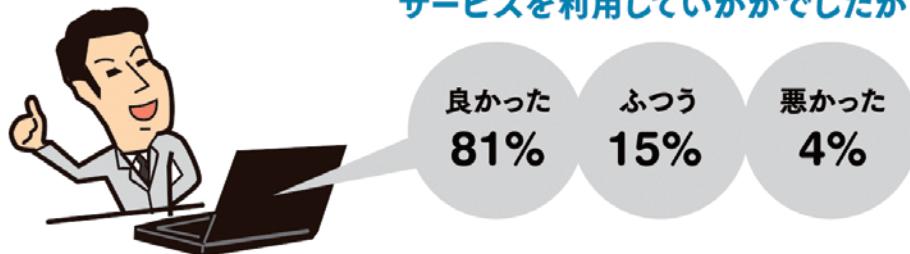
たとえば、ECサイトで売り切れのため購入できなかった商品の「再入荷通知」をお客様が希望した場合、商品入荷後すぐにメールやLINEでお知らせすることができます。これにより、売上アップや顧客満足度向上につながります。



## 顧客満足度アンケートを実施する

「商品やサービスにお客様は満足しているか？」等を調査する、顧客満足度アンケートをインターネット上で簡単に実施できます。回答結果はリアルタイムに確認できるので、お客様の声をスピーディーに商品・サービス改善へと活かせます。

### サービスを利用していかがでしたか？





**Q** WEBCASの強みは何ですか？



**A** 各企業の要望や環境に合わせ、柔軟にシステム構築できる点です。近年販売を強化している「WEBCAS」クラウドサービスは、他社では対応しづらいカスタマイズに柔軟に対応できるため、他社クラウドサービスからの乗り換えも多数ございます。

また、WEBCASは既存の顧客データベースや様々な外部システムとの連携が可能です。大がかりなシステム統合をしなくても、お客様の行動、ライフスタイル、属性などに合わせたコミュニケーションを実現できます。



**Q** 2018年3月期には「WEBCAS」の導入企業数が4,000社を超えました。どのような点が評価され、導入数が伸びているのでしょうか？



**A** 数千万規模の運用にも耐えうるシステムの性能の高さはもちろん、導入支援担当者の専門知識や経験を活かした提案力や、営業・サポート担当者の対応力に評価をいただいております。

## エイジアの取り組み Q&A



**Q** 2018年3月期は「クラウド事業の推進」「製品開発の強化」を目標として掲げていましたが、振り返っていかがでしたか？

**A** 「クラウド事業の推進」につきましては、クラウドサービスの売上が前年度比+12.1%となり、順調に拡大いたしました。



「製品開発の強化」につきましては、2017年8月に主要製品であるメール配信システム「WEBCAS e-mail」の新バージョンを発売いたしました。本バージョンでは「より多くの企業が」「より手軽に」メールマーケティングで成果を上げられるよう、複数のメールを横断分析できる機能や、商品購入データ等を簡単に差し込める機能を搭載いたしました。また、LINEメッセージ配信システム「WEBCAS talk」や顧客管理システム「WEBCAS CRM」のバージョンアップが完了したほか、マーケティングオートメーション「WEBCAS Auto Relations」の次期バージョン開発にも注力いたしました。



**Q** 2019年3月期はどのような取り組みをしますか？



**A** 引き続き、売上継続性の高いクラウドサービスの拡大販売を推進いたします。また、製品開発力をより向上させるため、社内の開発体制の見直しおよび再編を計画しております。

## 会社概要 (2018年3月末現在)

社名	株式会社エイジア		
役員	代表取締役	美濃	和男
	専務取締役	中西	康治
	常務取締役	北村	秀一
	取締役	長山	裕一
	監査等委員(取締役)	佐々木	俊夫
	監査等委員(取締役)	上野	周雄
	監査等委員(取締役)	藤本	眞吾
	監査等委員(取締役)	川名	愛美
従業員数	112名(連結、派遣社員含む)		
設立	1995年4月		
資本金	3億2,242万円		
証券番号	2352		
上場市場	東京証券取引所第一部		
所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田7-20-9 KDX西五反田ビル4階		
連絡先	TEL: 03-6672-6788 FAX: 03-6672-6805		
e-mail	azia_ir@azia.co.jp		
Webサイト	https://www.azia.jp/		

## 決算説明会動画のご紹介



株主の皆さま向けに、決算説明会の動画を公開しています。ぜひご覧ください。

<https://www.azia.jp/ir/video>

## 株式情報 (2018年3月末現在)

### ■株式の状況

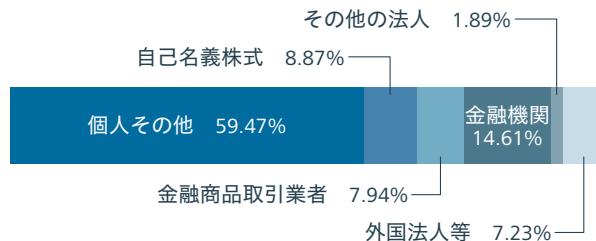
発行可能株式総数	18,504,000株
発行済株式の総数	4,552,400株
	(自己株式403,600株を含む)
株主数	4,427名

### ■大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	216,800	5.22
株式会社SBI証券	162,900	3.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	129,200	3.11
美濃 和男	128,500	3.09
西田 徹	118,400	2.85
北村 秀一	94,900	2.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	75,600	1.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口・75960口)	72,972	1.75
株式会社システムインテグレータ	65,600	1.58
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	56,300	1.35

- (注) 1. 当社は、自己株式を403,600株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式(403,600株)を控除して計算しております。なお、日本マスタートラスト信託銀行(株式付与ESOP信託口・75960口)が所有する当社株式72,972株は当該自己株式には含めておりません。

### ■所有者別株式分布状況



## 株主メモ

証券番号	2352
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	毎年3月31日
公告方法	電子公告の方法により、当社ホームページアドレス ( <a href="https://www.azia.jp/">https://www.azia.jp/</a> ) に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-232-711 (フリーダイヤル)

### 株式に関する各種のお手続きについて

- 各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## IRメールマガジンにぜひご登録ください

IRメールマガジンでは、エイジアの決算情報やIR動画配信、各種リリース、導入事例の公開等を、皆様にスピーディにお知らせしています。ご登録はIRサイトにて受け付けております。

エイジアIRサイト <https://www.azia.jp/ir/>

こちらのメールも、  
当社メール配信システム  
「WEBCAS e-mail」で  
配信しています

■■■■  
エイジアIRメールマガジン

■■■■  
2017年12月22日号

株式会社エイジア  
【東証一部上場 コード番号：2352】  
<http://www.azia.jp/>

こんにちは、株式会社エイジアです。  
当社は本日、以下の情報を開示いたします。  
で、お知らせいたします。

■配当予想の修正（東証一部指定記念配  
関するお知らせ

